

それでは、お昼のあいさつをしましょう！

桜っ子のみなさん、「こんにちは！」 気持ちのいいあいさつですね。さすがです。

今日は、5月28日ですが、二日後の5月30日は桜川小学校の開校記念日です。開校記念日というのは、学校ができた記念の日、「学校の誕生日」です。そして、今年の開校記念日は50回目の記念すべき「誕生日」になります。

先々週の水曜日、5月15日には、そのことを記念して、みんなで航空写真を撮りましたね。その時、校長先生は、「この記念すべき年に桜川小学校にいらることができて幸せだなあ」と、とても嬉しく思いました。皆さんはどう思いましたか？

今年の秋、11月2日の土曜日には、開校50周年をお祝いする記念の式典を行う予定で、校長先生、教頭先生、PTAの実行委員さんを中心に、今、準備を進めているところです。

さて、「この記念すべき年に桜川小にいられる」ことが、どれほど貴重で有難いことなのか、少しお話したいと思います。皆さんは、この50年で桜川小を卒業していった卒業生は何人ぐらいいると思いますか？

正解は、「7882人」です。今年の桜っ子は580人ですから、開校してから現在までに「8462人の桜っ子」がいたことになります。この8500人近いたくさんの人の中で、今年の1年生から6年生の「580人」の桜っ子だけが、記念すべき今年に桜川小にいらることができる。すごく貴重なことですね。

皆さんにはぜひ、そんな歴史の重みを感じながら、そして、これまでの卒業生が創ってきてくれた桜川小のよき伝統を、次の時代につないでいってほしいと思います。

桜川小の「よいところ」「自慢」、と言われたら、皆さんは何が思い浮かびますか？「たくさん植わっている本校のシンボル桜の木」でしょうか。「広い広い校庭」でしょうか。「小学校にしては相当広い、そして去年工事をしてピカピカになった体育館」でしょうか。校長先生なら、「あいさつ、無言清掃、朝マラソン、そして授業に学校行事など、何にでも全力で頑張る、笑顔が素敵な桜っ子が自慢です」と答えます。

皆さん、ぜひ「自分たち＝桜っ子」や「桜川小」の「よいところ」「自慢」は？と聞かれたらすぐに答えられるように、たくさんたくさん、よさや自慢を見つけてください。

最後にもう一つだけ、「まなびや桜川」について話します。校歌の一番に出てくるこの「まなびや桜川」というフレーズを、地域と共に50周年をお祝いする「合言葉」にしたいと思っています。その気持ちを6月の学校だよりに書いたので、ぜひ読んでください。そして、これから、校歌の一番を歌う時には、50周年をお祝いする気持ちを「まなびや桜川」という言葉に載せて歌ってほしいです。

「学校が好き」「自分の学校は自慢の学校だ」ということを「愛校心」といいます。6月を、この「愛校心」を高める月にするよう、みんなでがんばっていきましょう。